

平成 27 年度茨城県中小企業 IT 活用に関する実態調査結果 (概要)

◆調査時点：平成 28 年 1 月 4 日

◆調査方法：郵送によるアンケート調査

◆調査対象：県内中小企業 3, 0 0 0 社

◆回答状況：5 8 2 社 (回答率 1 9. 4%)

1 インターネット・ホームページの管理について

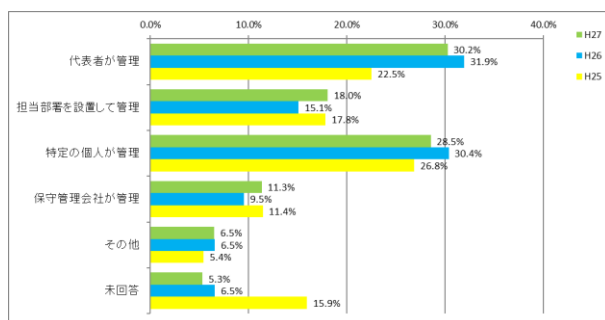
自社ホームページの有無について、「ある (59.5%)」、「ない (40.2%)」となった。

ネット環境の管理については、「代表者が管理 (30.2%)」が最も多く、次いで「特定の個人が管理 (28.5%)」、「担当部署を設置して管理 (18.0%)」となった。

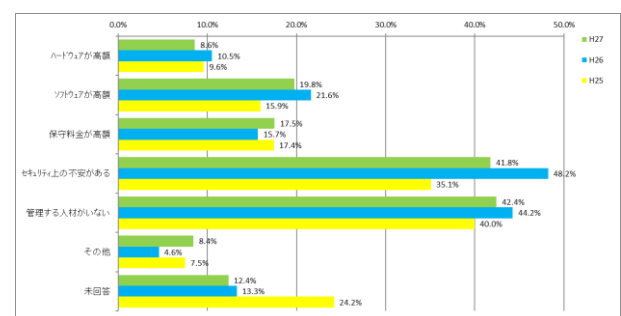
管理における課題は、「管理する人材がいない (少ない) (42.4%)」が最も多く、次いで「セキュリティ上の不安がある (41.8%)」となった。

セキュリティ上の不安材料については、「ウイルス感染 (84.0%)」が最も多い結果となった。

年間コストについては、「0～100 万円 (80.2%)」と回答した企業が最も多い結果となった。



(ネット環境の管理)

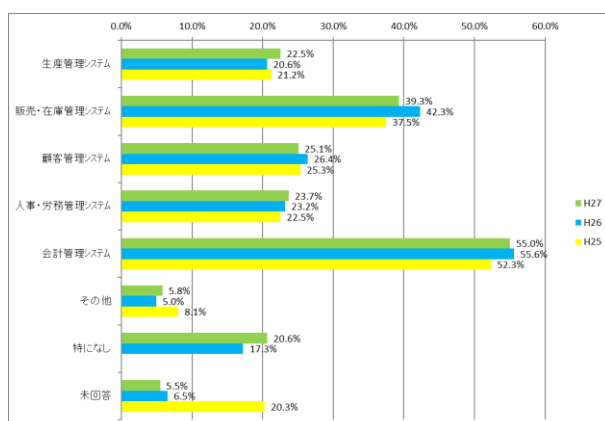


(管理における課題)

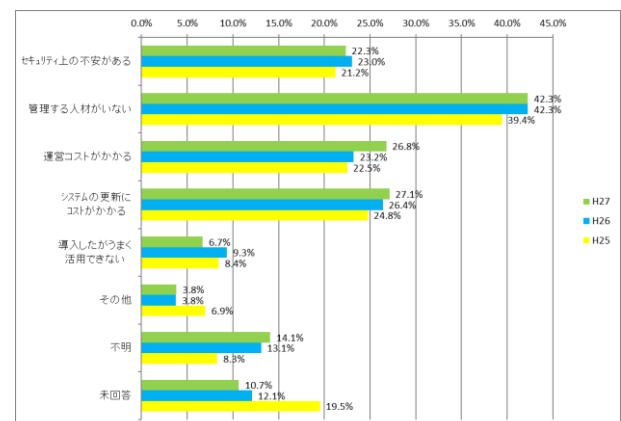
2 ITを活用した経営効率化

利用しているシステムについては、「会計管理システム (55.0%)」が最も多く、次いで「販売・在庫管理システム (39.3%)」であった。また、今後導入を検討しているシステムについては、「特になし (53.4%)」が最も多い結果となった。

課題については、「管理する人材がいない (42.3%)」、「システムの更新にコストがかかる (27.1%)」、「運営コストがかかる (26.8%)」、「セキュリティ上の不安がある (22.3%)」が多い結果となった。



(利用しているシステム)



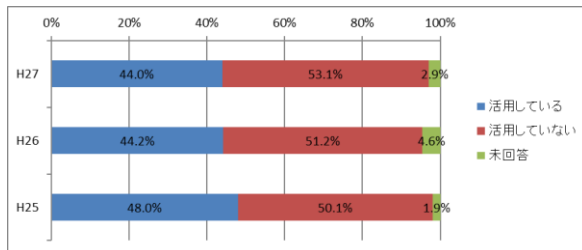
(IT活用の課題)

3 受発注業務におけるインターネットの活用状況

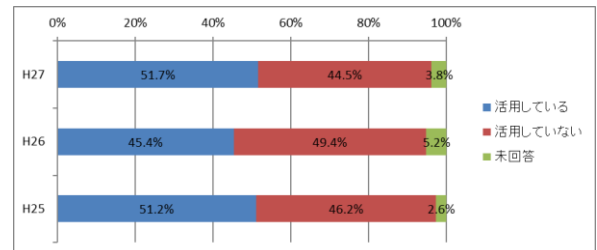
受発注業務のインターネット活用については、「活用している（発注業務 44.0%，受注業務 51.7%）」となり、利用媒体としては、発注業務・受注業務とも「電子メール（発注 58.6%，受注 55.5%）」が最も多く、次いで「取引先のシステム（発注 44.5%，受注 50.5%）」であった。

年間発注額又は受注額に占めるインターネットを利用した取引額の割合は、「5%未満（発注 30.9%，受注 29.6%）」、「30%以上（発注 21.1%，受注 32.2%）」とする企業が多い結果となった。

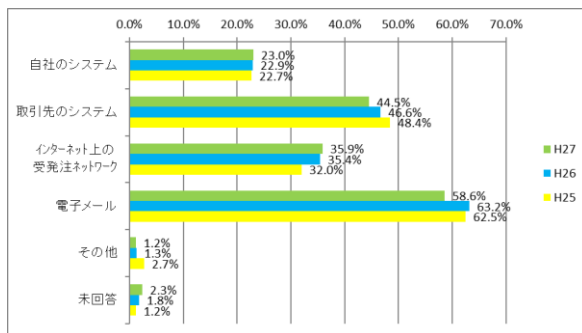
課題については、「管理する人材がいない（少ない）（発注 34.0%，受注 30.6%）」、「セキュリティ上の不安がある（発注 31.3%，受注 28.9%）」が多い結果となった。



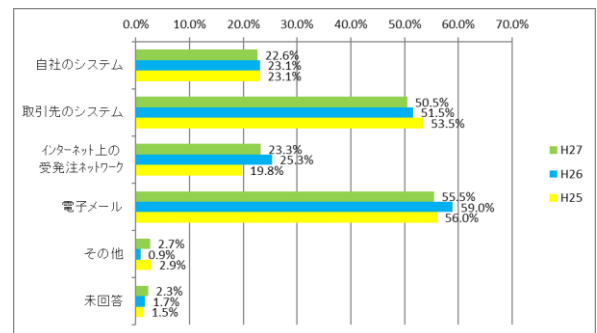
（活用状況：発注）



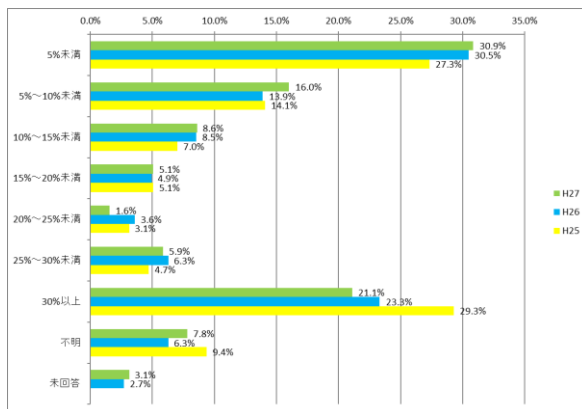
（活用状況：受注）



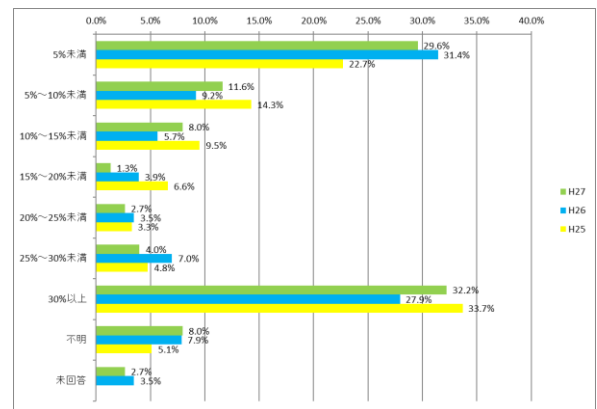
（利用媒体：発注）



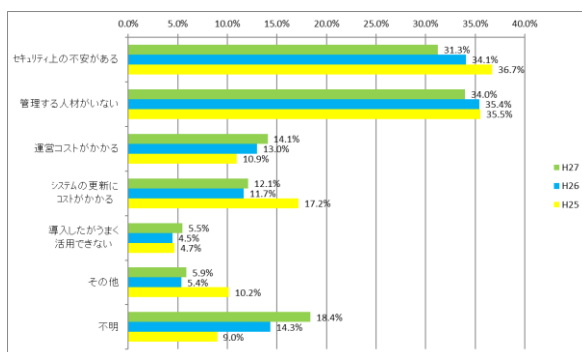
（利用媒体：受注）



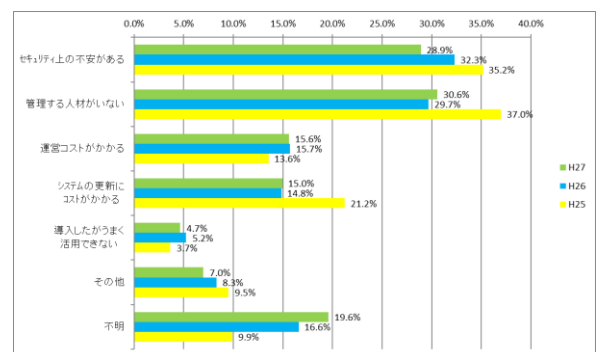
（仕入割合：発注）



（販売割合：受注）



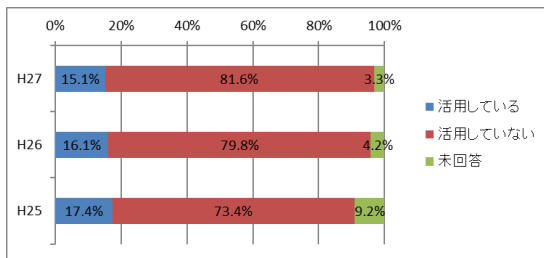
（発注業務における課題）



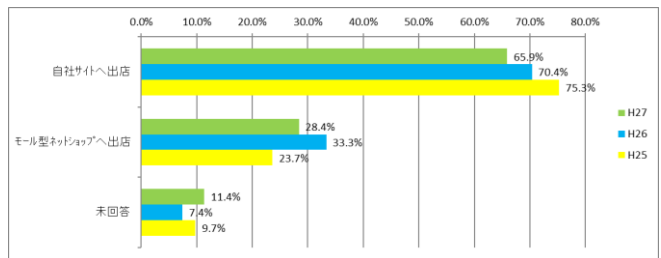
（受注業務における課題）

4 ネット販売について

ネット販売を「活用している（15.1%）」企業のうち、「自社サイトへ出店（65.9%）」が多い結果となった。年間売上高に占めるインターネットを利用した売上の割合は、「5%未満（54.5%）」が多い結果となった。課題については、「売上に結びつかない（40.9%）」、「管理する人材がいない（33.0%）」、「運営コストがかかる（22.7%）」が多い結果となった。



（ネット販売の活用状況）

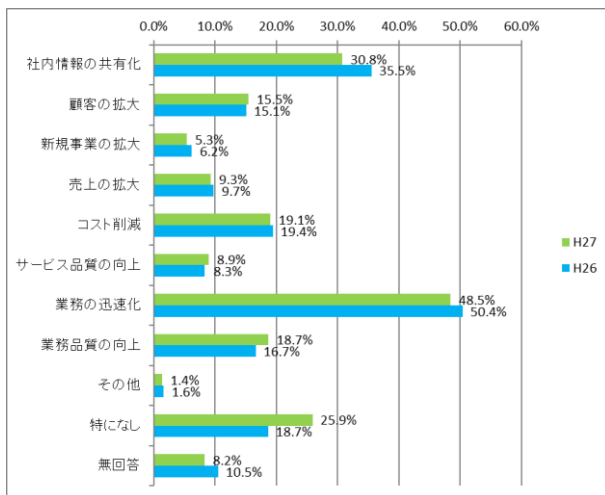


（ネット販売の形態）

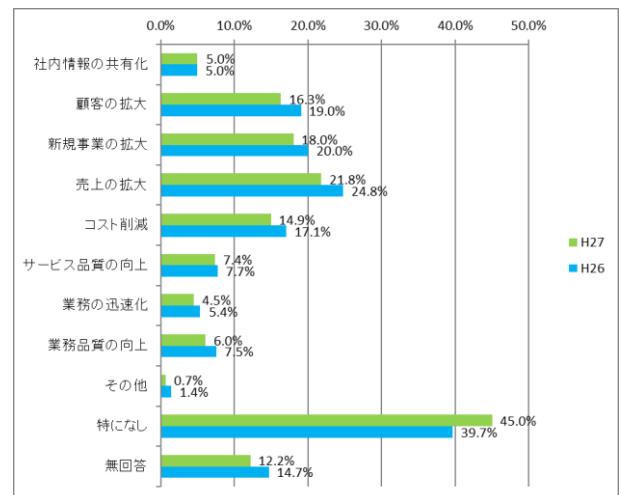
5 IT導入の効果について

IT導入で効果の感じられたことは、「業務の迅速化（48.5%）」、「社内情報の共有化（30.8%）」が多い結果となった。

IT導入で効果の感じられなかったことは、「特になし（45.0%）」、「売上の拡大（21.8%）」が多い結果となった。



（IT導入で効果の感じられたこと）

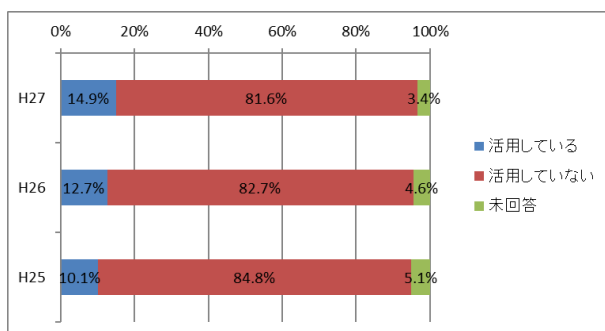


（IT導入で効果の感じられなかったこと）

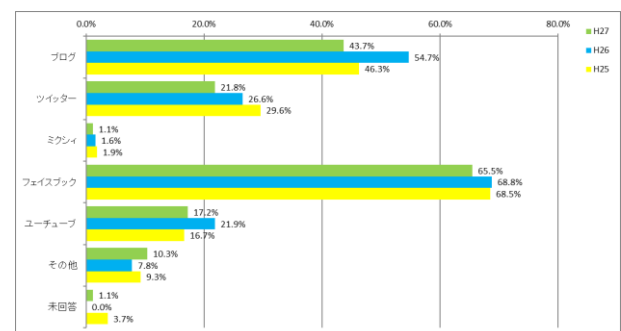
6 IT化の新たな動きについて

SNSの活用については、「活用している（14.9%）」であり、そのうち活用媒体は「フェイスブック（65.5%）」、「ブログ（43.7%）」、「ツイッター（21.8%）」となった。

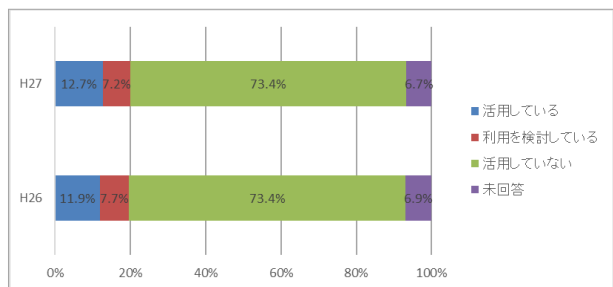
クラウドサービスの活用については、「活用している（12.7%）」、「活用を検討している（7.2%）」、「活用していない（73.4%）」となり、活用していない理由については「検討したことがない（41.2%）」が多い結果となった。



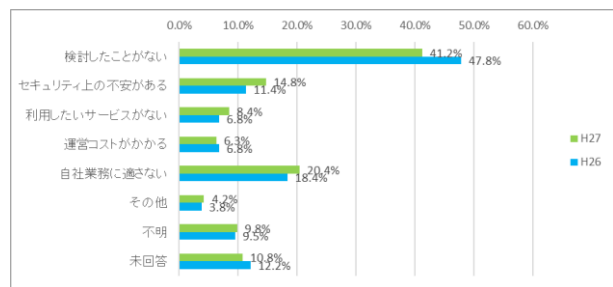
（SNSの活用状況）



（SNSの活用媒体）



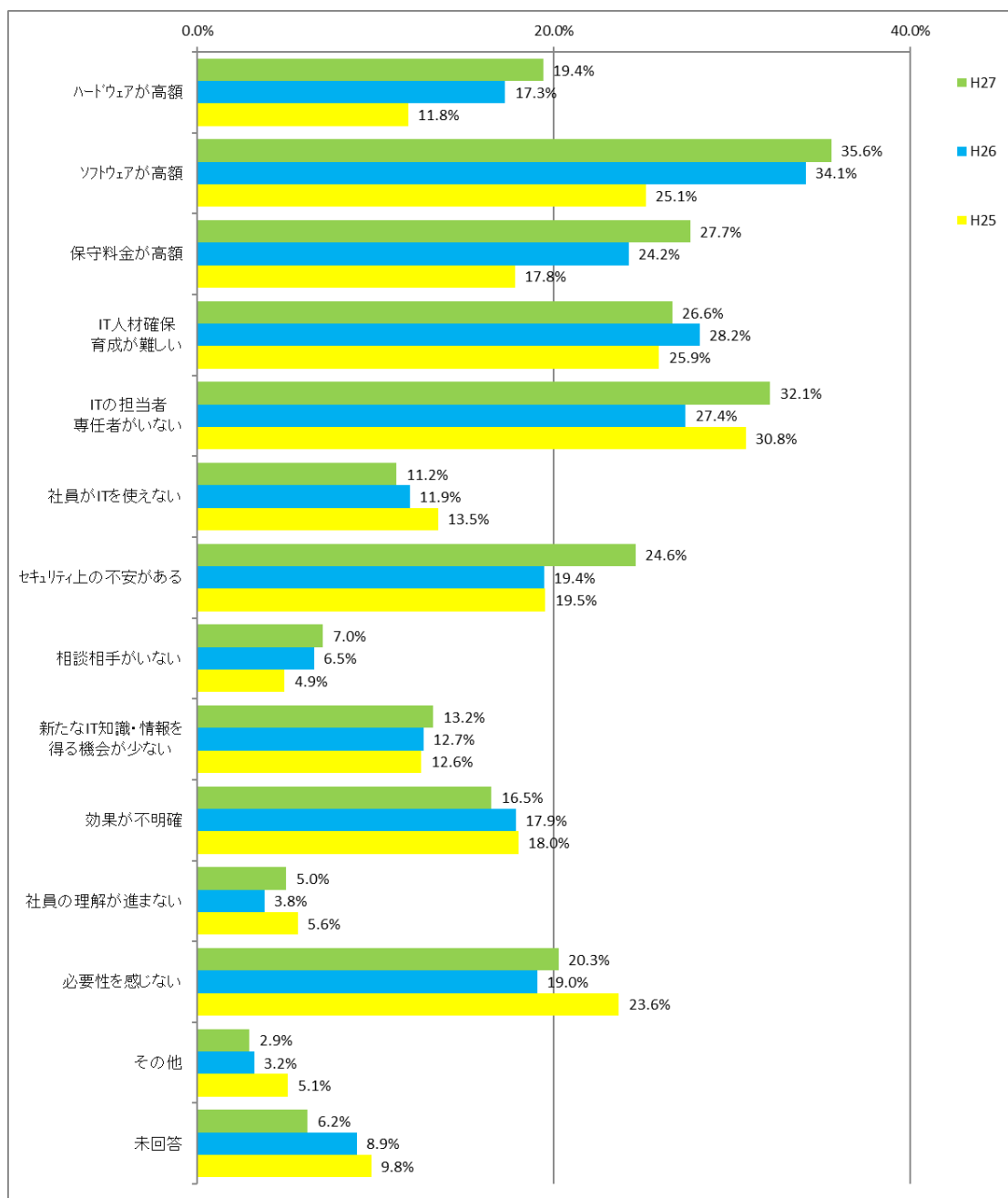
(クラウドサービスの活用状況)



(クラウドサービスを活用していない理由)

7 ITの運用・利活用上の課題

ITの運用・利活用上の課題については、「ソフトウェアが高額 (35.6%)」、「ITの担当者・専任者がいない (32.1%)」、「保守料金が高額 (27.7%)」のようになった。



(ITの運用・利活用上の課題)